

ようこそホタル舞うあいの里山へ



テーマ：里山の活性化 グループ名：里山守り隊

メンバー紹介（50音順）

石井由起子、石原清、雑喉良、寺本孝子、内藤マサヨ、藤本靖子、山川瑞子

これまでの活動経過1

1. あいな里山公園は
フィールド学習の場
2. 里山フレンズに登録し、植生を
学びボランティア活動を通じ提案
3. 竹を間伐し明るい竹林の再生を
目指す。



これまでの活動経過2

4. かいぼりで里山の池の水生动物の種を特定し、外来種の駆除も図る。

5. ホタルのエサとなるカワニナやタニシの生息調査を行う。



あいなのかいぼり



カワニナ

1.あいな里山公園を対象とするのは

- (1) 希少種の生物が多く生息する。
ため池や水路に
カスミサンショウウオ・モリアオガエル
などが生息し、植物も多く里山林を有する。



モリアオガエルの卵塊



カスミサンショウウオの卵塊

- (2) 里山暮らしの茅葺の民家を
移築し、里山暮らしを体現できる
(例：囲炉裏、五右衛門風呂、
炭焼き窯等)



2.里山フレンズの活動意義

- (1) あいなをフィールド対象として活動
するために全員が里山フレンズに登録
- (2) あいなイベント情報をいち早く知る
- (3) スタッフとして協力し、里山に関する
多くののことを学ぶ
- (4) レクチャーを受講し知識を深める。
- (5) 若い世代の参加を促進し、
里山愛好者を増やす



あいな桜



レクチャー受講

3.竹林の伐採・整備に参加

(1) 竹林の整備

竹の成長力は他の植物を寄せ付けず、植生が貧弱化。人が入らずイノシシの隠れ家となる。

(2) 伐採後は林床が明るくなり、下草が復活する。タケノコが採れ植生が多様化

(3) 切り出した竹は竹炭に竹を有効活用できる



森や竹林の整備



竹林に光が差し込む

4.ため池のかいぼりに参加・協力

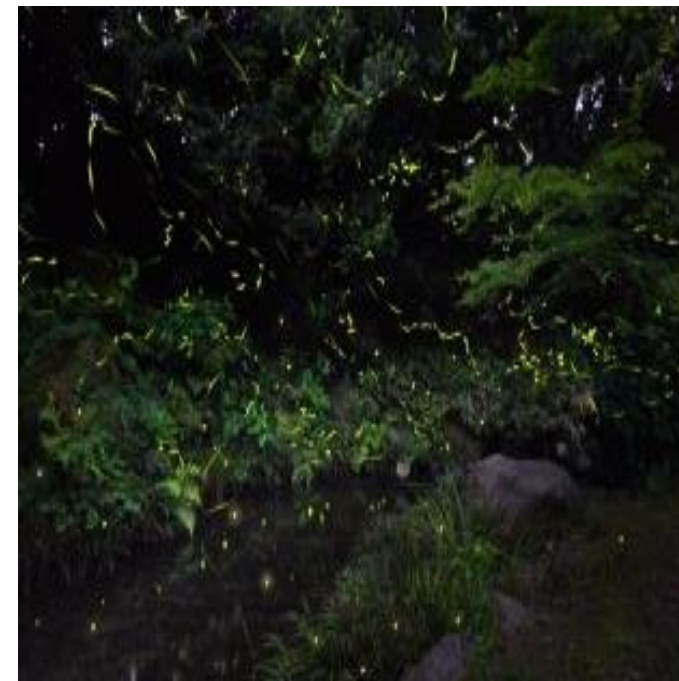
- (1) 水田耕作の有った歴史的背景で
あいなにはため池が多い
- (2) アメリカザリガニ、ミシシッピ・アカミミガメ、
ウシガエル等の外来種も多く生息
- (3) かいぼりは池を干すことでひび割れ等を
補修し、生きものの生息確認、外来種の
駆除に有効。かいぼりは体力的には
きついが、子供たちの喜ぶ姿を見ることができる



アカミミガメ

5.ホタルが乱舞する「あいの里」を目指す

- (1) 公園内にはホタルが生息する。
源氏蛍は流れのある水路、
平家蛍は田んぼ、姫蛍は陸生で
湿地帯と棲み分ける
エサはカワニナ、タニシなど。
ミズゴケも摂取する。
- (2) 3月半ばの園内調査ではカワニナ
タニシとも殆ど見られず。去年の
台風による水害が原因か？



今後の取組・活動について

- (1)引き続き、カワニナの生息状況の調査を行う。
- (2)場所は園内及び近隣の櫛谷川、木津川、伊川等とする。
- (3)あいな里山公園の水路は源流で、そこに生息するカワニナ等を園内に移送して繁殖を促しても、問題はないと思われる。
- (4)移送は専門家にDNAの鑑定などを依頼する。
- (5)私たちは、あいな里山公園をホタルが乱舞する里にし、集客力があがり、全国の里山に対する関心や興味も深まることに期待している。



カワニナ調査

